No.463

広報 みぶ

9年 12月

△機械器具点検
（消防自動車は、本年２月にすべての更新が完了しました）

△ポンプ操法の点検を受ける団員
（迅速・機敏なポンプ操法が展開されました）

分列行進

放水点検

服装点検を受ける団員

有事の備えは万全

町消防団通常点検

町消防団（中根幸男団長、団員２０３名）は、火災の発生しやすい季節を迎え、12月１日に壬生小学校校庭で通常点検を行いました。

人員・服装点検、機械器具点検、ポンプ操法、黒川河川敷での放水点検を行い、有事の際の消防体制を再確認し、最後に分列行進で点検を終了しました。

皆さんも火の取り扱いには、十分注意しましょう。

（関連記事Ｐ７）

発行　壬生町役場　編集 総務部企画財政課　毎月15日発行　〒321-02 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　☎0282-82-1234

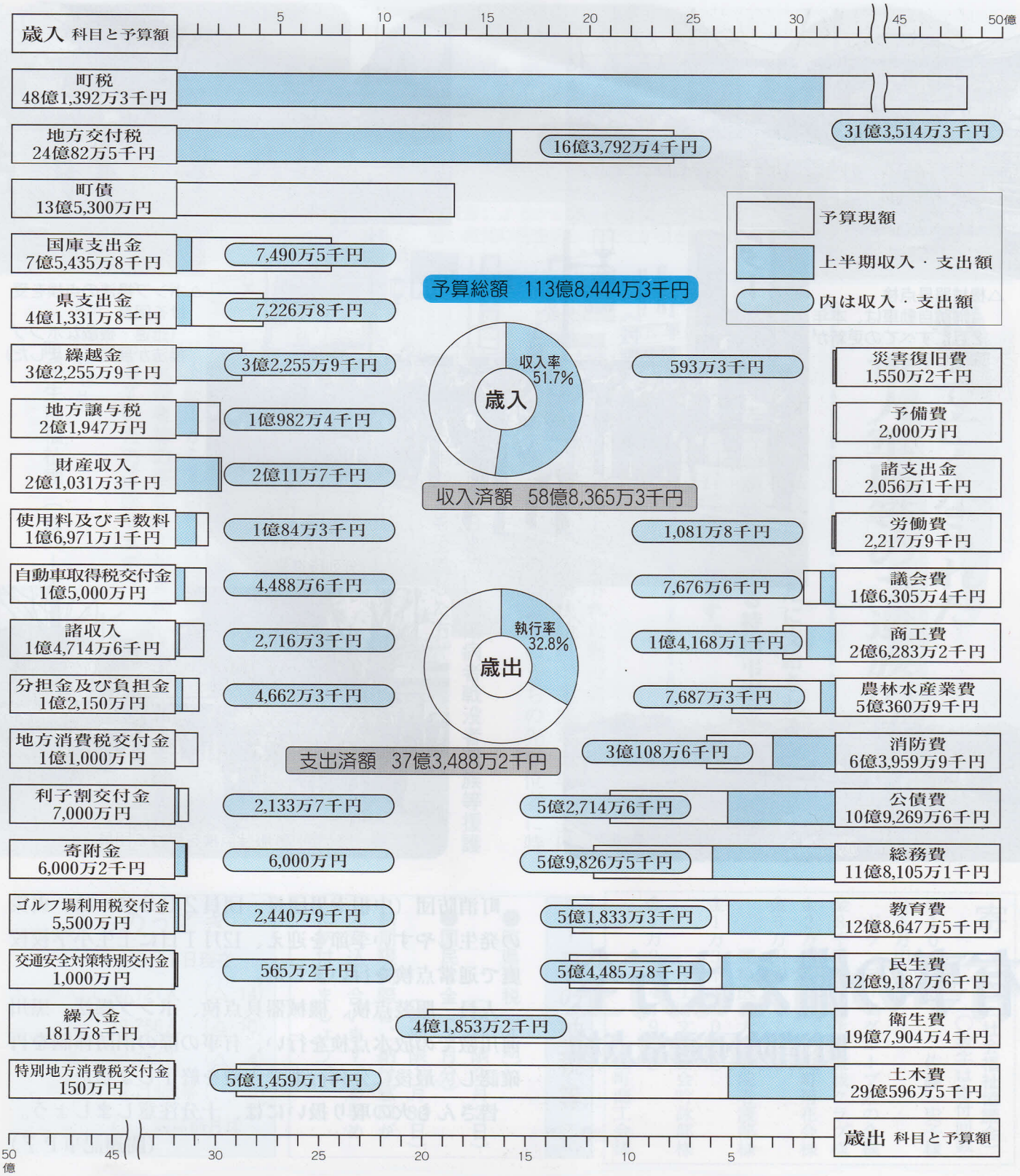
このように

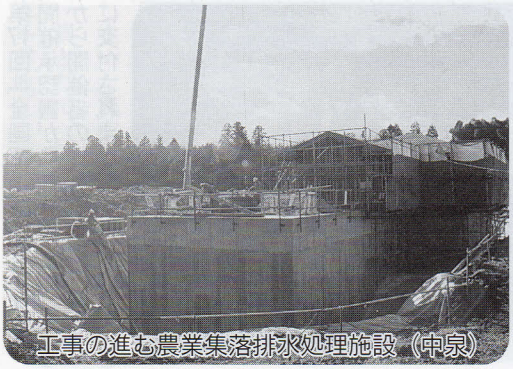
（平成９年９月30日現在）

町では、皆さんに町の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国・県支出金がどのように使われているかを知っていただくために、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、年に２回（６月・12月号広報）財政状況を公表しています。

今回は、平成９年度上半期（平成９年４月１日から９月30日）の収入と支出の状況についてお知らせします。

一般会計執行状況




工事の進む農業集落排水処理施設（中泉）

平成９年度　上半期財政状況報告

町の収入と支出は

特別会計執行状況

国民健康保険

予　算　額	23億5,631万円
収入済額	10億1,613万9千円
支出済額	8億6,450万8千円

公共下水道事業

予　算　額	17億5,467万1千円
収入済額	3億4,348万8千円
支出済額	5億2,638万9千円

（収支の不足額は、一般会計から運用しました。なお、公共下水道事業には、都市計画税の一部が充当されています。）

奨学資金

予　算　額	174万5千円
収入済額	153万8千円
支出済額	153万1千円

老人保健事業

予　算　額	25億3,349万9千円
収入済額	11億6,494万7千円
支出済額	10億4,060万円

農業集落排水事業

予　算　額	14億3,947万7千円
収入済額	1億3,901万2千円
支出済額	2億4,654万2千円

（収支の不足額は、一般会計から運用しました。）

《税の負担状況》

1人あたり 71,354円 ⇒

町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税
22,935円	39,415円	888円	2,537円	5,579円

1世帯あたり 225,690円 ⇒

町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税
72,541円	124,665円	2,811円	8,026円	17,647円

150年の伝統「鯉沼の豊年祭り」

◁ 農業・農村の持つ美しい自然や景観、貴重な伝統文化などを生かし、誰からも期待される魅力あるふるさとの創造として「ふるさとルネッサンス」事業を推進しています。

▷ 少子化時代における子育てを行う両親への支援策として《すこやか子育て支援》制度が4月1日スタート【写真は、児童クラブで一緒になって勉強する子どもたち】

水道事業

収益的収支		資本的収支	
予　算　額	5億1,080万8千円	予　算　額	5億5,829万円
事業収益	4億5,937万7千円	資本的収入	65万円
事業費用	3億5,573万7千円	資本的支出	1億2,892万4千円

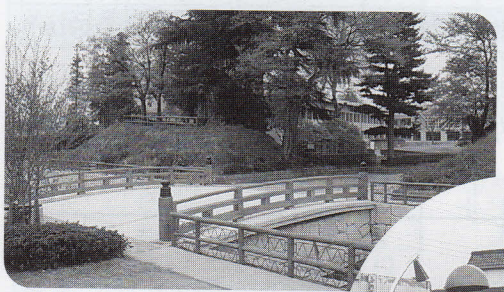
資本的収支の収入が支出額に対して不足する額は、当年度分損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補てんしました。

振り返ってできごと

師走に入り、今年も残り少なくなりました。皆さんにとって、この１年はどんな年だったでしょうか。

町の主なできごとを見ながら、この１年を振り返ってみましょう。

第17回「全国都市緑化フェア」の開催承認書が亀井建設大臣（当時）から開催者の栃木県、壬生町などに交付されました。（2月26日）



来訪者をからくり時計の壬雷ちゃんがやさしく迎えるおもちゃのまち駅西口広場と叙情的なメロディが流れやすらぎの城址へと迎え入れてくれる城址公園の橋が完成（3月10日）

整備基本計画図

平成12年開催の「第17回全国都市緑化とちぎフェア」の会場ともなる栃木県壬生総合公園（仮称）は、「創造性にあふれ　ゆめ多く　やさしくたくましい子どもたち」を基本テーマに《子どもをテーマとした公園》として整備が進められています。

主なできごと

1月

8日・賀詞交歓会
15日・第48回成人式
（６８０人が新成人に）

2月

1日・人権を考える町民のつどい
3日・立志式（壬生・南犬飼中）
・平成元年から進めて来た町消防団消防自動車の更新を完了
4日・わくわく農業体験事業
地域農業セミナー開く
6日・老人クラブ演芸大会並びに作品展示会
15日・第９回女性のつどい
16日・第10回壬生町綱引き大会
・おもちゃ博物館「おもちゃ病院」開設
23日・第11回町民剣道大会
26日・「第17回全国都市緑化フェア」開催承認書、亀井建設大臣より交付される

3月

2日・おもちゃ博物館「北原照久おもちゃ鑑定とメルヘンコンサート」
8日・学習館フェスティバル（～９日）
10日・城址公園橋改修工事完成
・おもちゃのまち駅西口広場完成
11日・中学校卒業式
15日・公民館、資料館まつり（～16日）
・壬生町消費生活展（～16日）
19日・小学校卒業式
25日・保育園卒園式

4月

1日・空き缶等の散乱防止に関する条例スタート
・すこやか子育て支援制度スタート
・町消防団新体制スタート（中根幸男氏、消防団長に就任）
2日・篠原義明氏、教育長に就任
4日・「しののめの桜」まつり（～15日）
7日・保育園入園式
8日・中学校入学式
・壬生町戦没者慰霊祭
9日・小学校入学式
16日・総合公園に鯉のぼりが泳ぐ（～5/18）
20日・第16回町消防団ポンプ操法大会
26日・おもちゃ博物館
第３回企画展「世界の乗り物おもちゃ展」（～5/18）
29日・田村榮市氏、勲６等瑞宝章を授章

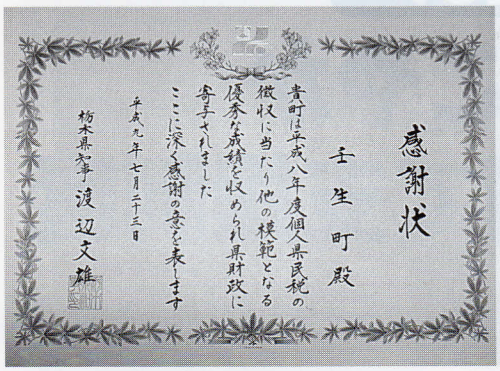
5月

3日・おもちゃ博物館
第２回おもちゃふれあいまつり（～５日）
25日・第14回壬生町テニス、バドミントン大会
31日・環境美化キャンペーン

6月

1日・おもちゃ博物館、入館者40万人を超える
13日・第11回町民ゴルフ大会
18日・壬生町清掃センターごみ焼却施設建設工事請負契約締結
22日・第11回町民柔道大会
28日・認定農業者10名を認定

今年を振り 平成９年の主な

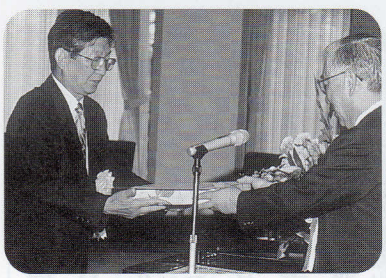

感謝状

壬生町殿

貴町は平成八年度個人県民税の徴収に当たり他の模範となる優秀な成績を収められ県財政に寄与されましたここに深く感謝の意を表します

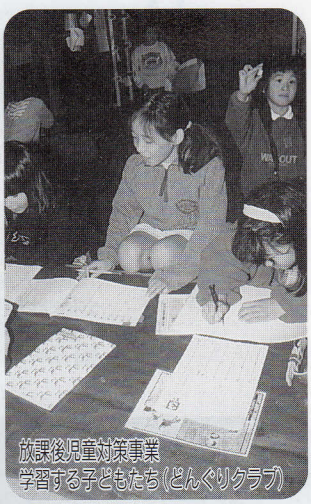
平成九年七月二十三日

栃木県知事 渡辺文雄


個人県民税の収入歩合が県平均を上回るなどにより、優良納税町として知事より感謝状を受ける（7月23日）

「帯の空木」とまで称せられた下稲葉出身の染色家・高久空木の回顧展が開かれ、大勢の人が訪れ空木の染色の美に酔いしれていました（10月18日～11月23日）

電線類の地中化工事が進められてきた蘭学通り（壬生大通り）の一部が完成、8月9日には完成を記念して蘭学通りフェスティバルが開かれる



21世紀を担う子どもの健やかな成長を願うと共に子どもを安心して生み育てることができるよう、また、少子化時代に子育てを行う両親への支援策「すこやか子育て支援」制度がスタート（４月１日）

28日・壬生町国際交流推進協議会が設立

7月

5日・青少年健全育成町民のつどい
7日・八坂祭（夏祭り）（～16日）
10日・農業集落排水事業、上田、中泉両地区の汚水処理施設の工事に着手
19日・おもちゃ博物館第4回企画展「世界のからくりおもちゃ展」開催（～8/31）
23日・町が優良納税町として県知事感謝状を受ける
29日・身体障害者スポーツ教室（ボウリング）
30日・県議会土木常任委員会が今井バイパスを現地調査
・新ALTアンドルー・テイラーさん（英国）着任
31日・児童文化教室「宿泊研修」（～2日）

8月

1日・町消防団夏季点検
9日・蘭学通りの一部完成を記念して「蘭学通りフェスティバル」開かれる
22日・ふるさとまつり（～23日）
27日・町長の高齢者訪問（～9/2）

9月

15日・第6次海外行政視察団（～24日）（イタリア・フランスを視察）
25日・敬老のつどい
26日・第22回壬生町交通安全町民大会

10月

9日・農政講演会
10日・第27回町民歩け歩け大会
18日・町歴史民俗資料館第10回企画展「高久空木回顧展」（～11/23）
19日・第12回健康ふくしまつり
・おもちゃ博物館第5回企画展「世界のおりがみ展」開催（～11/9）
26日・第7回壬生町レクリエーション大会

11月

2日・おもちゃ博物館第2回おもちゃフェスティバル（～3日）
・第15回総合産業まつり
・第13回町バスケットボール大会（9日）
3日・おもちゃ博物館、入館者45万人を超える（777日営業で45万2、134人、1日平均来館者580人）
・瓦井敦郎氏、勲六等単光旭日章を授章
4日・自治功労者34名を表彰
19日・町長を囲み「町政懇談会」開かれる

12月

1日・町消防団通常点検
7日・第6回壬生町健康ロードレース大会
18日・子ども模擬議会開催

ご利用ください

町のすこやか子育て支援制度

どんぐり児童クラブ

◎問合せ先　町民生部福祉課児童福祉係
☎ 82-1234　内線 113・114

町では、21世紀を担うお子さんの健やかな成長を願うとともに子どもを安心して生み育てることができるよう、少子化時代に子育てを行う両親への支援策として『すこやか子育て支援金』、『第3子以降の保育料減免』、『放課後児童対策事業』などの《すこやか子育て支援事業》を行っております。
ここに支援事業の概要を紹介します。

すこやか子育て支援金

子どもを安心して生み育てることができるよう、第3子以上の出生児に『すこやか子育て支援金』を交付し、少子化時代における子育てを行う両親への支援を行う。なお、この制度は、平成9年4月1日以降に生まれたお子さんから適用になります。

受給要件

次の要件、すべてに該当した方に交付されます。
①第3子以上の出産の日前に、本町に引き続き1年以上住所を有している方。
②現に2人以上の児童を養育していること、または、2人以上の児童を養育している事実状態にあると認められること。
③第3子以上を出産し、かつ3か月以上養育していること。

支援金額

1人につき
100,000円

申請方法

該当する方は、出産の日から3か月経過後に町民生部福祉課、稲葉・南犬飼出張所において申請してください。

保育料を減免

《第3子が2分の1・第4子以降全額免除》

町立の保育園、民間の2保育園入園児童の保育料が第3子が2分の1、第4子以降は全額免除になります。例えば、一世帯で第1子が小学生、第2子が入園児の場合は、第3子の保育料が2分の1に減額になります。また、第4子以降が入園している場合は、保育料が全額免除になります。

放課後児童対策事業

保護者等の不在などにより、下校後保護指導を受けることのできない、町内の小学校に通学する1年生から3年生までの児童の健全な育成を図るため、児童と保護者で組織する児童クラブが基本的な習慣を家庭的な雰囲気の中で学習する場を提供します。

対象児童

町内の小学校に在籍する1・2・3年生の児童で、下校後家族が留守のため、保護者の指導を受けられない児童

主な事業

①児童の育成・指導
②地域及び保護者相互の連絡・提携
③円滑な運営を図るため、定期的な運営委員会の開催

開設時間及び休日

◎開設時間
・原則として、下校時から午後5時30分（但し、学校休業中は、午前8時30分から午後5時30分）
◎休日
・日曜日、祝日及び年末年始

委託児童クラブ

◇どんぐり児童クラブ ☎83・5019
壬生町落合1―15―5

町消防団通常点検行う

町消防団（中根幸男団長、団員203名）の通常点検が12月1日、壬生小学校校庭で行われました。

点検は、佐藤勉衆議院議員、町内外の消防関係者等の来賓が見守る中、点検者清水町長の点検者宣言により開始されました。

人員・服装および機械器具、ポンプ操法の点検、黒川河川敷に場所を移しての放水点検が、中根団長の指揮のもと迅速・機敏に行われ、点検者より「良好である。町民の付託に応えるために精進を続けてほしい」との講評・訓示を受けました。

また、永年勤続者や消火協力者などの消防功労者の表彰が行われ、最後に、蘭字通り（壬生大通り）を分列行進し、点検を終了しました。

表彰（敬称略）

栃木県知事表彰

◎功績章

第1分団長　関本　和夫
第3分団長　吉岡　榮

栃木県消防協会下都賀支部長表彰

◎功績章

第3分団第2部団員　伊澤　好夫

◎勤続章　5年

〈第1分団〉
第2部団員　三上　健
〃　荒川　実
第4部団員　山川　滋
〃　吉田　春夫
〈第2分団〉
第3部部長　加藤　久男
〃　班長　木立　良則
〃　団員　清水　栄一
〈第3分団〉
第1部団員　小野崎末吉
第2部団員　西山　利幸
第3部部長　斉藤　晴美
〃　班長　荒川　和久
第4部部長　粂川　浩史
〃　班長　川津　清孝
第5部部長　篠崎　哲生
〃　団員　小平　昭博

壬生町長表彰

◎功績章

第3分団第2部団員　伊澤　好夫

◎勤続章　5年

（栃木県消防協会下都賀支部長表彰と同じ）

◎優良部及び努力賞の部

【優良部】

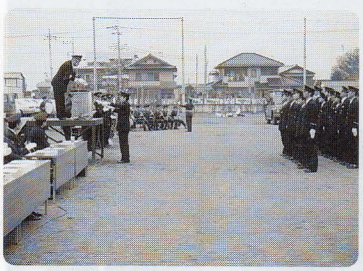
◇消防ポンプ自動車の部
第2分団第1部
第3分団第1部

◇小型動力ポンプ積載車の部
第2分団第5部
第1分団第3部

【努力賞の部】

◇消防ポンプ自動車の部
第3分団第5部

◇小型動力ポンプ積載車の部
第1分団第5部


表彰を受ける消防団員

感謝状

《平成8年度退団者》
前団長　梁島　安男ほか44名

《防火貯水槽土地提供者》
羽生田地区　荒川　正一
七ツ石地区　早乙女　茂

《消火協力者》
中央町8-5　高橋　守・シズ子
中央町7-8　足利銀行壬生支店
駅東町26-6　伏見　忠
藤井1777-6　木森　豊
駅東町4-24　橋本　昭一
中央町6-47　川島　有由
中央町17-23　高木　信行
本丸1-9-31　荒川　克己
通町7-22　東川　長作
中央町7-1　日向野光子
中央町7-11　増田　美博
羽生田2107　荒川　イチ
羽生田361-1　山口　哲男
本丸2-11-7　新優本店㈱

《防火協力団体》
上通町自治会青壮年部

税の広場

サラリーマンの確定申告

大部分のサラリーマンは、年末調整によってその年の所得税の納税を完了しますが、次のような場合などには、確定申告をしなければなりません。

①平成9年分の給与収入の合計が2、000万円を超える場合

②給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が20万円を超える場合

③給与の支払いを2か所以上から受けている場合で、年末調整をされなかった給与の収入金額と、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が20万円を超える場合

なお、確定申告をする必要のないサラリーマンでも、マイホームをローンなどで取得したり、多額の医療費を支払った場合などには、確定申告をすると源泉徴収された所得税が還付される場合があります。

申告書を書くときは「所得税の確定申告の手引き」や「申告書の書き方」を参考にしてください。

「申告書の書き方」に示されている番号順に記入していきますと、所得や税額の計算が簡単にできるようになっていますので、ご自分で記入して郵送などにより早めに提出してください。

なお、お分かりにならない点等がありましたら、栃木税務署（☎22―0885）へお問い合わせください。

にせ税理士にご注意を

確定申告の時期になりますと、税金の申告手続きなどを税理士に依頼する方が多いと思いますが、その際には正規の税理士かどうかを税理士証票等でよく確かめてください。

納税者からの依頼による税務代理、税務書類の作成、税務相談は法律により税理士にしかできないことになっています。

自治会連合会

町長を囲み 町政懇談会行われる

町政について清水町長と自治会長とで意見を交わす、町自治会連合会（石川昭三会長）主催の「町政懇談会」が11月19日、多数の自治会長さんが参加し、壬生中央公民館で行われました。

懇談会には、町から清水町長、毛塚収入役、篠原教育長、総務・民生・経済の各部長、教育次長が出席、はじめに清水町長より、今町が進めている「夢と活力にあふれた緑園都市・みぶ」の実現に向けたまちづくり状況についての講話がありました。

次いで、各自治会長さんから道路の問題や町村合併、いじめ、少子化、水資源の問題など、直接生活に結びつく要望等が出され、町長を交えた活発な意見交換が行われました。

緑園都市・みぶに向けたまちづくり状況について話す清水町長

教育文化祭

教育功労者を表彰

町の教育功労者を表彰する壬生町教育文化祭が11月28日、壬生中央公民館で開かれました。

清水町長はあいさつで、「壬生は城下町として、古くから優れた教育文化を育んできました。これからもぜひお力添えを願いたい。」と述べ、続く表彰式では、長年町に勤めた教育関係職員の方や、教育振興のための寄附をされた方など、44名の教育功労者に賞状と記念品が贈られました。

また、式典のあと、倉持美沙子さんによる「中国残留孤児の娘として」と題した講演が行われ、中国で生まれ育ち、平成5年に日本に移住、現在壬生に住んでいる倉持さんが、流暢な日本語で自らの体験を語りました。

教育功労者が表彰を受ける

資料館コーナー

壬生の偉人・義人たち（八）

立志伝中の三兄弟

大審院部長
西川 一男（にしかわ かずお）

西川正順の長男として1870年（明治3年）壬生町城南に生まれました。東京帝国大学法科を卒業して判事となり、東京地方裁判所、東京控訴院判事部長などを歴任し、1921年（大正10年）大審院判事となりました。会計検査官懲戒裁判所裁判官を兼ね、次いで宮城控訴院長に転任、1931年（昭和6年）大審院部長に栄転しました。時の「名判事」として知られました。

教育者
西川 順之（にしかわ まさゆき）

西川正順の二男として1873年（明治6年）壬生町城南に生まれました。東京高等師範学校を卒業し、同校教授兼幹事、文部省監学官などを歴任しました。そして、旧制高知高等学校、松本高等学校（現信州大学）校長を務め、教育者として名声を博しました。正三位勲二等に叙せられています。

測機舎設立
西川 末三（にしかわ まつぞう）

西川正順の三男として1877年（明治10年）壬生町城南に生まれました。旧制栃木中学校を卒業し、東京帝国大学農科大学林美実科に進み、1902年（明治35年）に卒業、同大学農科助手となりました。そして、1906年（明治39年）同大学台湾演習林主任として渡台、7年半後に風土病にかかり日本に戻った1918年（大正8年）、玉屋測量器製作所に入社しましたが、争議のとばっちりを受け1年間で退職、翌19年に測機舎同人に経営統帥者として迎えられ、33年間測機舎発展のため努力してきました。

測量機械といえば、アメリカのガーレーといわれた大正時代に、これに対抗して立ち上がった測機舎は、努力をかさねて半世紀でガーレーを追い越し、逆にアメリカにまで進出し商戦に勝ちました。

戦時中は軍需工業に指定され、航空用計器で日本唯一の製造所となりました。戦後は特殊な測定器に取り組み、スイスのワイルド社・ドイツのツァイス社と共に測量機の3大メーカーとして世界に名を知られ輸出でも業績を伸ばしました。

町と壬生郵便局

災害時の協力体制で協定

町と壬生郵便局との「災害発生時における協力に関する覚書」の調印が11月11日、役場町長室で清水町長と小宮采司壬生郵便局長との間で行われ、協定が同日付で発効しました。

協定には、町内で地震などによる大規模災害が発生した際に、両者が管理する施設、用地などを被災者のために避難場所として開放するほか、郵政事業を滞りなく進めるための援護対策、地理や地域の家族構成などに詳しい郵便局員の特性を生かした被災者の早期情報の相互提供などが盛り込まれています。

覚書を取り交わす清水町長（右）と小宮壬生郵便局長

壬生町消費者友の会

設立20周年記念式典行われる

式典であいさつする清水町長

壬生町消費者友の会（栗原芳子会長）の設立20周年記念式典が11月11日、清水町長、田中町議会副議長、川村県生活環境部次長を来賓に迎え、会員多数が出席、ハートピア晩翠で行われました。

消費者友の会は、昭和53年6月10日に設立され、「賢い消費者」を目指したさまざまな活動を展開、近年は「地球環境はあなたの足元から」を合言葉に牛乳パック・アルミ缶・ペットボトル回収やレジ袋の辞退など、会員が一つになって環境保全に努める活動を行っています。

式典終了後、県消費生活アドバイザー若村育子氏による「暮らしと環境」と題した記念講演が行われ、フリージングや揚げ物などの残り油の問題など、生活に密着した話題に参加者は、興味深く聞き入っていました。

消費者だより

地球環境はあなたとわたしの足元から

壬生町消費者友の会

包装紙と牛乳パックのアイデア利用を考えましょう

ファッションフラワー

旅の思い出やプレゼントなどに、利用しましょう。

素敵な包装紙がたくさん出回っています。捨てればゴミ。捨てる前に、もう一度利用してみませんか。服装に合わせて楽しむことができます。

牛乳パックの正座イス

牛乳パックと余り布を使って、正座イスを作ってみませんか。おしりの下にいれて座ると、膝の負担が少なく楽に座れます。（下図参照）

○消費生活展（2月・壬生中央公民館）で実習を行います。

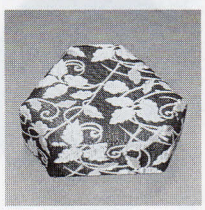
再生品を買いましょう

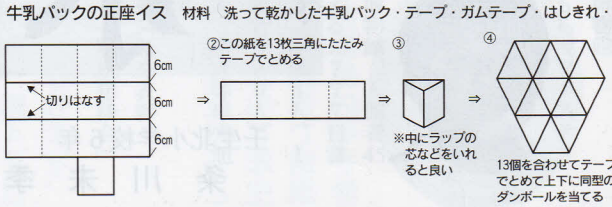
トイレットペーパー

ボール紙の芯のない、中まで使えるのが経済的です。

次回は、「レジ袋辞退と生ゴミの堆肥化について」です。

牛乳パックの正座イス　材料　洗って乾かした牛乳パック・テープ・ガムテープ・はしきれ・綿

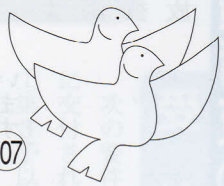




い広場

青春スケッチ 79

お達者カップル 107



今井
鈴木　甫（はじめ）さん（８０）
　　サクさん（７６）夫妻

「相撲を見るのが好きで、テレビ中継があるときは二人で見ています。」という、鈴木甫さん・サクさん夫妻。

大正６年に生まれた甫さんは、昭和９年に旧制栃木中学（現在の

何にでもチャレンジ

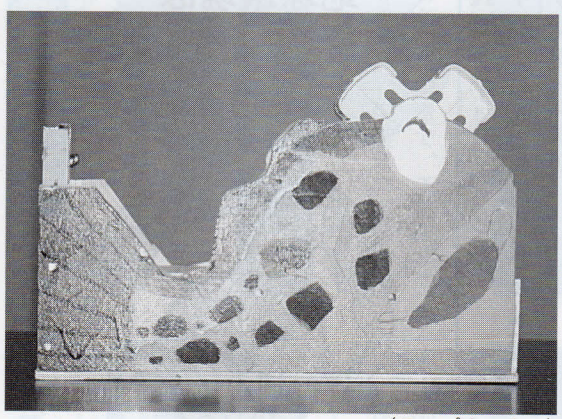
安塚一　大出　佐奈江さん

「いまテニスを習っていて、もっと上手になりたいです。それから、今年はスキーの１級を取りたいです。」と、意欲を燃やす佐奈江さん。

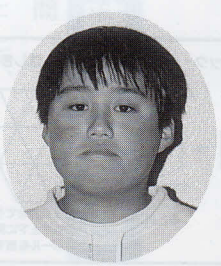
海外旅行先のバリでも、カエル・アヒル・ヤギの料理を食べ、ニシキヘビを首に巻き、大トカゲを抱っこするなど、何にでもチャレンジしています。

佐奈江さんの夢は「老後に、ニュージーランドに家を買って過ごすこと」だそうです。

私の作品



（テープカッター）



壬生北小学校６年
川又一慶

壬生北小学校６年
糸川未季

ふれあ

援農隊時代の思い出を刻んだ歌碑を建てる

国谷在住の山野茂さん（68歳）は、学生時代に援農隊（農作業の支援）の一員だった当時の思い出をつづった歌碑を北海道士別市に建てられ、地元市民の皆さんから喜ばれています。

山野さんは、宇都宮農学校（現在宇都宮白楊高校）4年生だった昭和19年、働き手が戦地にいってしまった農家を支援する援農隊の一員として、同級生らと共に士別市多寄地区において、農家に寝泊まりしながら約3カ月間、稲作などを手伝いました。

この援農隊が縁となり平成3年47年ぶりに現地を訪れた際、農家の人たちの手厚い歓迎に接し、当時のことをつづった「心の旅路」という詩を作り、ギターで曲を付けプレゼントしました。

士別市には、市民の方たちが作った詩や短歌を石碑にして立てておく「想い出の森」があり、現地の関係者が山野さんの詩も石碑に刻むことが計画。この話を聞いた山野さんが申し出自費で立てられたものです。

栃木高等学校）を卒業後、歩兵隊に入隊する昭和14年まで東武宇都宮駅に勤めていました。

入隊後、甫さんは中国大陸に渡り、兵役につきました。

一方、昭和13年に旧制栃木実業女学校を卒業したサクさんは、実家の手伝いをしていました。

二人が結婚したのは、甫さんが戦地から一時帰国をしていた昭和19年のことです。

満州（現在の中国東北部）で終戦を迎えた甫さんは、その後シベリアに抑留され、帰国したのは昭和24年のことでした。

帰国後に農業を始めて以来、3年前まで二人で農業を営んできました。

甫さんの趣味は植木の手入れと野菜づくりで、サクさんの趣味は草花の栽培と、生徒をとって教えていたこともあるという編み物です。

現在、長男夫婦と暮らしており、保育園に通うお孫さんと遊ぶのを楽しみにしているのですが、「ウルトラマン」に関するクイズなどを出され、本を片手に、答えに四苦八苦していると笑っていらっしゃいました。

チビッ子アルバム

雛代（ひなよ）ちゃん（1歳11か月）
（父）荒川　勝彦さん
（母）〃　治代さん　（安塚中央）

お母さんから一言

元気いっぱい、遊んでネ。

秀哉（しゅうや）ちゃん（3か月）
（父）倉持　秀昭さん
（母）〃　有子さん　（県営壬生住宅）

お母さんから一言

明るい子になってほしい。

「チビッ子アルバム」コーナーのお子さんを募集しています。ご希望の方は、お子さんの写真と簡単なメッセージを添えて、町総務部企画財政課広報広聴係（☎82－1234　内線212）までお送りください。

ピカピカの栃木県
幼稚園児も美化運動に一役

県幼稚園連合会、県幼稚園PTA連合会共催による「ピカピカの栃木県・公共施設美化10万人運動」が、今年も11月4日から8日にかけて行われました。

これは、県内の幼稚園に通う園児が家族と一緒に環境美化活動を行うことによって、「家族のありかた」、「環境」、「公共心」について家族ぐるみで考えてもらおうと行われているものです。

本町では、町内5つの幼稚園に通う園児とその家族が期間中に、城址公園や幼稚園周辺道路等のゴミや空き缶、落ち葉などの清掃を行い地域の環境美化に努めました。

城址公園を清掃する月かげ幼稚園児

町民ゴルフ大会
雨の中自慢の腕を競う

第12回壬生町民ゴルフ大会が11月26日、星の宮カントリー倶楽部で、119名（男子の部104名、女子の部15名）のゴルファーが参加して行われました。

あいにくの雨模様の天気になりましたが、雨にも負けず真剣なプレーが展開されていました。

各部門の入賞者は、次のとおりです。

男子の部		ネット	グロス
優勝	田村光宏	66.2	83
準優勝	小島正司	66.4	76
3位	高橋正義	68.8	76
4位	甫坂利一	69.6	84
5位	田村恭一	69.6	84
6位	大垣成仙	69.8	89
7位	丸山典夫	70.0	94
8位	粂川憲一	70.6	97
9位	前原康弘	70.6	85
10位	大塚勝己	71.0	83
女子の部		**ネット**	**グロス**
優勝	鈴木啓子	69.8	77
準優勝	谷田貝文子	70.0	94
3位	天野優子	72.6	87
4位	佐藤アイ	75.2	92
5位	荒川幸枝	76.0	112
男子グロスの部		**スコア**	
優勝	柏崎一之	71	
準優勝	斉藤裕一	75	
3位	高橋正義	76	
4位	板橋康雄	76	
5位	小島正司	76	
女子グロスの部		**スコア**	
優勝	鈴木啓子	77	

写真右から鈴木啓子さん
柏崎一之さん

煙の充満したビニールハウスで煙道避難体験をする参加者

いざという時のために
駅東自治会防災訓練

体験を通じて防災意識を高めようと、駅東自治会（伊藤帰一会長）の防災訓練が11月16日、駅東児童公園で行われました。

消防組合壬生分署の野沢署長による講話に続いて人工呼吸の体験訓練が行われ、参加者たちは、訓練用の人形を相手に、消防署職員の指導を受けながら人工呼吸の手順を学びました。

煙を充満させたビニールハウスの中を、出口に向かって歩いていく煙道避難体験では、「ほとんど前が見えない」と驚く参加者が多く、火災現場での避難の難しさを実感していました。

消火訓練では、消火器を使って実際に炎を消す体験や、過熱したテンプラ油の発火実験が行われ、火災時の対処方法や、いざという時の心構えについて学びました。

女性問題を考える

女性の地位向上を目指す「女性の社会参加支援特別推進事業」として本年度、文部省の委嘱を受けている「ジェンダーの視点で意識を変えてみませんか」壬生地区研修会（久賀和代　壬生地区実行委員長）が11月13日、壬生中央公民館で開かれました。

ジェンダーとは、社会・文化の中で、「女は（男は）こうあるべき」と規定されてきた性差のことで、『男女とも「らしさ」にとらわれずに考え、行動することが大切』と訴えました。

研修会は、開会式のあと講演、ビデオ視聴と続き、最後に行われたフォーラムでは、参加者が活発に意見を交わしていました。

「ふるさと直売所コンテスト」
藤井農産物直売所が優秀賞

毎週土曜日、町内3か所で直売所を開いている藤井農産物直売所部会（阿久津勝部会長）の直売所が、10月24日～26日に宇都宮市のマロニエプラザで開かれた「ふるさとマロニエフェア'97」の最終日に実施の「ふるさと直売所コンテスト」で、参加20チームの中でみごと優秀賞を獲得しました。

これは、マロニエフェア会場に特設された各団体の直売所を、農協中央会などの代表から成る委員会が審査し、モニター投票の結果を加味して各賞を決定するというもので、産品の独自性や、販売方法・接客態度などが審査の基準になります。

（写真右から長副部会長、阿久津部会長）

壬生郷友会
秋季総会行われる

120年の歴史のある壬生郷友会（太田金吾会長）の平成9年秋季総会が11月24日、多数の会員が出席して東京都豊島区で行われました。

総会には、町から松井町議会議長、毛塚収入役が出席、会員の皆さんは出身自治会別の会員バッチをつけ、同郷の集いは、東京では親類が集まったようなもので、年齢の差を越えて話題が弾み、壬生町の発展を喜び合いました。

また、会員一同から歳末助け合い募金が寄託されました。

なお、壬生郷友会では会員を募っています。壬生町出身の方でしたらどなたでも入会できますので、次にお問い合わせください。

◇壬生郷友会事務所
〒144 東京都大田区萩中1-9-18
冨田　志麻　方

スポーツを通して
自治会の交流を図る

下表町自治会（山岸英夫会長）の第6回ファミリー体育祭が11月2日、自治会員約600名が参加して、町南部運動場で行われました。

これは、会員相互の交流を図ろうと行われているもので、今回の体育祭は班対抗で行われ、各班から選ばれた選手や隣近所の人たちの応援にもひときわ熱がはいり、二人三脚やムカデ競争などの競技に汗を流し、楽しい一日を過ごしました。

町バスケットボール大会
てまりチーム（男子）が連覇
女子は都賀クラブが制す

第13回壬生町バスケットボール大会が11月2日・9日の両日、南犬飼中学校で行われました。

大会には、町内外から男子13チーム、女子4チームが参加、白熱した試合が展開されました。

成績

【男子】
優勝　てまりチーム
準優勝　壬生体協チーム
三位　都賀Aチーム

【女子】
優勝　都賀クラブ
準優勝　壬生クラブ
三位　西方　女子チーム

優勝のてまりチーム

町文化祭互選高点作

短歌

相槌（あいづち）をうたねばこの座が白けると思えば黙（もだ）すほかに術（すべ）なし
神林　文恵

天気とは気粉れ者と予報官外れし冷夏を謝っている
秋山　セン

ネクタイに背広姿のお父さん自家用車にてゴミ出してゆく
茂木　富美

これだけは言わねばならぬと思いつつ逆巻く波を見つめて居たり
石井　ヒロ

俳句

寝そべって若さはみ出す浜日傘
宇井　秋汀

厨（くりや）の灯消してちちろに任（まか）せけり
鈴木佳世子

注・ちちろ…こおろぎ

蕗（ふき）むくや筋通したきことのあり
角田　節子

天高しボランティアの茶髪の子
佐藤　淑子

懸崖づくりなど見事な菊が並びました

壬生町文化祭

壬生の文化が一堂に

壬生町の文化の秋を代表する壬生町文化協会（大橋理三郎会長）主催の第19回壬生町文化祭が10月26日から11月30日まで、壬生中央公民館で開かれ文化協会各部による芸術と文化の薫る催しが行われ、訪れる人を堪能させていました。

茶会のようす

藤井小学校児童によるかんぴょう音頭が発表されるなど、若い世代に壬生の伝統文化が引き継がれています。

合同展

戦争で亡くなられた軍人軍属等のご遺族の皆さまへ

平成7年の法律改正で新たに支給されることとなった「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」の受付が、平成10年3月31日で終了します。

《対象となる方》

満州事変以後公務上死亡された戦没者等のご遺族で平成7年4月1日において公務扶助料、遺族年金等を受ける方がいない場合に、次のご遺族のうちの先順位者に特別弔慰金を支給します。

①平成7年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金を受給した方。
②戦没者等の子。
③戦没者と生計を共にしていた父母、孫、祖父母、兄弟姉妹
（平成7年4月1日において婚姻により姓が変わっている方又は遺族以外の人と養子縁組をしている方を除きます）
④上記③以外の父母、孫、祖父母、兄弟姉妹
⑤上記①から④以外の三親等内の親族
（戦没者等の死亡まで引き続いて1年以上生計を共にしていた方に限ります）

◎問合せ先
・町民生部福祉課（☎82―1234内線126）

寄付

（社会福祉協議会）
（○数字は寄付回数）

金101円③　佐藤　史子様
金1万円⑬　ボランティアグループ虹の会様
金8千円⑥　壬生町盆栽クラブ様
金2万円①　壬生町菊花会様
金5万円⑦　獨協医科大学病院看護部様
金1万3千400円①　壬生町文化協会吟詠部様
金1万2千449円⑥　壬生町商工会様

1月の納税等

●町県民税（4期）
（納期限2月2日）
●国民年金（2月分）
（納期限1月30日）
納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。お早めに納付しましょう。

まちのうごき

12月1日現在

総人口	40,121人	（△ 14）
男	19,756人	（△ 10）
女	20,365人	（△ 4）
世帯数	12,715世帯	（ 9）

（ ）内は前月比